

公益財団法人千里リサイクルプラザ令和4年度(2022年度)定時評議員会議事録

1. 開催日時 令和4年5月27日(金) 午前10時00分から同11時10分
2. 開催場所 吹田商工会議所会館 2階 第1会議室
3. 評議員現在数 9名
4. 評議員定足数 5名
5. 出席評議員数 6名
(出席評議員) 内田 慶市 大江 尚子 岡松 道哉 紙谷 和典
鳥越 喜雄 三輪 信哉
(欠席評議員) 大山 和輝 坂田 俊之 福井 克久
6. 出席理事 門脇 則子 平田 美恵子 袖山 明彦
7. 出席監事 上田 康雄 原田 憲
8. 傍聴者 1名

9. 会議の目的事項

- 決議事項 第1号議案 令和3年度(2021年度)事業報告及び決算の件
第2号議案 評議員2名選任の件
第3号議案 理事2名選任の件

- 報告事項 (1) 令和3年度第1回理事会決議等について
(2) 令和3年度第2回理事会決議等について
(3) 令和3年度第3回理事会決議等について
(4) 令和3年度第4回理事会決議等について
(5) 令和3年度第5回理事会決議等について
(6) 令和3年度第6回理事会決議等について

9. 会議の概要

(1) 議長の確認

門脇則子理事長の挨拶後、冒頭で袖山明彦事務局長が司会となり、議事の進行に先立ち、定款第19条に定める評議員の互選による議長の選出について諮ったところ、満場一致をもって三輪信哉評議員が議長に選出された。

(2) 定足数の確認

議長は、総評議員数9名のうち出席評議員数が6名であることを確認し、定足数を満たしているため、本日の評議員会が有効に成立していることを報告した。

(3) 議事録署名人の指名

議長が本日の議案の審議に入る前に、議事録署名人として岡松道哉評議員及び紙谷和典評議員を指名した。

(4) 議案の審議状況及び議決結果

①第1号議案 令和3年度(2021年度)事業報告及び決算の件

議長が、第1号議案を議題とし、事務局に説明を求めたところ、袖山明彦事務局長が、この議案については定款第8条第1項に定める監事の監査を受け理事会の承認を受けたので、評議員会の議決を求める旨を説明、事業報告については玉江千佳子主査、大森亘主査が、決算書類

については田崎貴子主査がそれぞれ議案書を基に順次説明を行った。

続いて、議長の求めに応じて上田康雄監事より、監査意見として、事業報告は法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めること、理事の職務の執行に関する不正の行為または法令若しくは定款に違反する重大な事実認められないこと、また、計算書類及び附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び正味財産の増減の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認める旨の監査報告があった。

報告が終わり、議長が質問及び意見を求めたところ、次のような質疑応答があった。

(内田評議員)

令和3年度の視察・見学者数は、前年度(令和2年度)に比べかなり改善を見せ、例えば小学生から大学生のカテゴリーでは倍増になっており、良い傾向であるが、これはコロナ禍の状況の変化によるものか。理由を教えてください。

(大森主査)

令和4年度に入り、吹田市内の小学校36校中で33校から小学4年生の施設見学の申込が入っている。毎日のように子どもたちが元気に見学に来てくれている状況である。吹田市教育委員会の予算により、バスをチャーターして来館する小学校もある。コロナ感染状況が落ち着きつつある中、公共交通機関や徒歩で来る小学校も増えてきた。昨年度(令和3年度)は吹田市で15校の施設見学を実施したが、一昨年度(令和2年度)はコロナが大変厳しい状況であったため、ほぼ申込のない状態で、見学を希望していた少数の小学校も教育委員会の指示で中止になった。2年前の状況と比較すると、現在では子どもたちが生き生きとして見学に来てくれるようになり、喜ばしい限りである。

(岡松評議員)

令和3年度の正味財産増減計算書についてお聞きしたい。コロナ禍中であって、こうした施設はどれも経営状況が厳しいという話を聞く。吹田市資源リサイクルセンターの指定管理者として運営を委託されている当財団については、経常収益や経常費用の変動幅が少なく、コロナ禍でも比較的安定した経営であり、経営状況の悪化はないように思うが、そのような理解でよいか。

(上川参事)

直接の回答にはならないかもしれないが、経営状況という面からは即座に解決を必要とする問題を抱えているという状況ではないと考えている。しかしながらコロナ禍は当財団が計画した各事業の実施の阻害要因となり、多くの来館者に来ていただくという初期の目標を引き下げることになっている。ただ、行動制限でリアルな来館が制限される中でも、HP や SNS で情報を発信し、映像で見ってもらうというような対応を行い、経営に大きな負担を強いることなく運営を可能にしていると考えている。また公益財団法人はその役割を果たすために、年度毎に公益目的事業に係る収入が支出を上回ってはいけないという法律上の制約があるので、単純に利益を追求するという法人とは一線を画することをご理解いただきたい。

(紙谷評議員)

初めての定時評議員会出席で、基本的なこととして聞きたいが、正味財産増減計算書で基本財産の運用については、どういった内容の運用を行っているのか。また今後の見通しについてはどう考えているのか。

(上川参事)

当財団の基本財産は出捐いただいた9億6千万円を指定正味財産として日本国債で運用している。基本財産の評価損は大きな金額のマイナスとなっているが、これは本国債の時価評価が下がっているためであり、あくまで決算日における評価額としてとらえていただきたい。出捐金を安全に運用することが大前提であるが、今後、環境啓発施設を預かる公益財団として資産運用にもグリーンボンドや環境債等、利益追求のみを目的とするのではなく、環境に貢献するという観点に立つ運用も検討対象としたい。また随時、複数の証券会社から最新の情報収集を行い運用手段の動向把握に努めているが、現状、安全かつ高利回りでの運用方法については困難な状況である。評議員各位で優れた運用方法の提案があればご教示いただきたい。

(鳥越評議員)

私も初めての定時評議員会出席で、これから種々知識を深めていきたいと考えている。視察見学について聞きたいが、今年、吹田市教育委員会の働きかけで小学生の見学は元に戻ってきたというのは喜ばしい。令和3年度は令和2年度に比べて倍増のデータとなっていたが、コロナ発生前と比較した場合の変化はどの程度か数値で教えて欲しい。またコロナ禍が終息した後、対応している視察見学案内スタッフの人数確保が課題となるように思うが。

(天野参事)

平成30年度の視察見学者数は合計で約6,000人となっていた。特に新型コロナ蔓延前は海外からの見学者が年々かなり多くなってきており、プラザもこの傾向を歓迎し大いに期待をしていたが、入国禁止状況となり視察見学者数も落ち込んだ。今後コロナが回復したら海外各国からの見学者で賑わいを見せるように力を注ぎたい。比率で行けば35%程度である。

(上川参事)

施設見学案内スタッフについては、現在、施設案内くるくるサポーターというボランティアの方々に、破碎選別工場と市民工房他の説明対応をお願いしている。スタッフの人数確保という点から、現在、視察見学は5人以上の団体であることを、受入条件にしているが、今年度は1人で来館された方でも簡易な施設見学ができるよう、館内各所 QRコードを使った表示を行い、スマホ等でこれを読み取りながら館内を回り見学できるシステムの導入にプロジェクトチームを編成して取組んでいる。こうした取組により案内ボランティアの増員を必要としない新たな施設見学についても定着させ効率の良い経営を目指したい。

議長が他に質問及び意見を求めたところ、質問及び意見はなかったので採決を諮ったところ、満場一致をもって第1号議案は承認可決された。

②第2号議案 評議員2名選任の件

議長が、第2号議案を議題とし、事務局に説明を求めたところ、柚山明彦事務局長が、本年度の定時評議員会終結の時をもって現評議員9名のうち2名が任期途中での辞任を申し出たため新たに候補者2名を提案し、議長は候補者ごとに名前を読み上げ審議した。

審議した結果、議長は評議員候補者1名毎に選任の決議を求め、それぞれ出席評議員全員一致で可決した。

(新任)

中嶋 洋、丹羽野 和夫

任期は選任された日から令和8年度定時評議員会の終結の時まで。

尚、任期途中での辞任者2名は次のとおり。

(辞任)

大山 和輝、坂田 俊之

③第3号議案 理事2名選任の件

議長が、第3号議案を議題とし、事務局に説明を求めたところ、柚山明彦事務局長が、本年度の定時評議員会終結の時をもって現理事10名のうち2名が任期途中での辞任を申し出たため新たに候補者2名を提案し、議長は候補者ごとに名前を読み上げ審議した。

審議した結果、議長は理事候補者1名毎に選任の決議を求め、それぞれ出席評議員全員一致で可決した。

(新任)

東 真吾、道澤 宏行

任期は選任された日から令和6年度定時評議員会の終結の時まで。

尚、任期途中での辞任者2名は次のとおり。

(辞任)

後藤 暢之、中嶋 勝宏

(5)報告事項

①令和3年度第1回理事会報告等について

門脇則子理事長が、コロナ禍において令和3年度第1回理事会を決議の省略による書面決議で開催し、第1号議案「令和2年度(2020年度)公益財団法人千里リサイクルプラザ事業報告及び決算の件」、第2号議案「特定資産取得に基づく実践教室運営資産取得資金の承認の件」、第3号議案「令和3年度(2021年度)定時評議員会招集の件」が原案どおり承認され、また公益財団法人千里リサイクルプラザ中期計画(平成29年度～令和3年度)の令和2年度の実施状況について報告した旨の報告を行った。

②令和3年度第2回理事会報告等について

門脇則子理事長が、令和3年度第2回理事会も書面決議により、第4号議案「理事長、副理事長、専務理事の選定の件」が原案どおり承認され、業務執行理事として門脇則子理事長、平田美恵子副理事長、柚山明彦専務理事の三役が選定された旨、報告した。

③令和3年度第3回理事会報告等について

門脇則子理事長が、引き続き令和3年度第3回理事会も書面決議により、第5号議案「監事候補者推薦の件」が原案どおり承認され、平野浩三監事の辞任に伴い、新たに上田康雄監事が就任したことを報告した。

④令和3年度第4回理事会報告等について

門脇則子理事長が、さらに令和3年度第4回理事会も書面決議により、第6号議案「吹田市資源リサイクルセンター指定管理者の指定申請の件」が原案どおり承認され、申請提出書類である令和4年度から令和8年度の5年間の事業計画書、収支計画及び管理体制計画書の内容について理事会で説明した旨を報告した。

⑤令和3年度第5回理事会報告等について

門脇則子理事長が、第5回理事会は吹田商工会議所会館で令和3年度初めてとなる対面で行い、第7号議案「公益財団法人千里リサイクルプラザ第2次中期計画の策定の件」が原案どおり承認され、令和4年度から令和8年度までの5年間を対象とする当財団の経営の新たな羅針盤が示された旨を報告した。併せて令和3年度上半期の代表理事及び業務執行理事の「職務の執行状況報告」と第1四半期と第2四半期の監事監査報告について報告した。

⑥令和3年度第6回理事会報告等について

門脇則子理事長が、第6回理事会も第5回に引続き対面での理事会を、吹田市資源リサイクルセンターで開催し、第8号議案「公益財団法人千里リサイクルプラザ令和4年度事業計画及び収支予算等の承認の件」が原案どおり承認され、併せて令和3年度第3四半期の代表理事及び業務執行理事の「職務の執行状況報告」と第3四半期の監事監査報告について報告した。

尚、令和4年度第1回理事会の報告については、年度単位での報告への変更により令和5年度の定時評議員会で報告する旨、述べた後、門脇則子理事長は、「公益財団法人千里リサイクルプラザ中期計画(平成29年度～令和3年度)」の最終年度にあたる令和3年度の進捗状況について、事務局から説明すると述べたので、議長が事務局にその説明を求めた。

天野参事は、令和3年度を最終年度とする中期計画の名称について、令和4年度を初年度とする新中期計画を第2次中期計画としたため、第1次中期計画と変更する旨、説明し、また5年間の総括については現場や事務局各員の声を反映したものとするため、必要な時間をかけ別途報告を予定している旨を述べた。その後、令和3年度については、コロナ禍の中でも蔓延防止を徹底し、当財団職員が一丸となって事業に取り組んだことで、来館者の多くに好評をもって迎えられたことやネットを使った新たな情報発信が功を奏したことを述べた。

続いて上川参事が、ネットやHP、SNSの活用で、コロナ禍の中、来館せずとも再生家具抽選申込ができるようにしたこと、また有料の広報媒体も有効に使い、情報発信の成果が実ってきていること等を述べた。また環境啓発動画コンテストについてもしっかりと根を下ろし、作品レベルの向上も目を見張るものがあること、また環境学習発表会も対面ができない中、HP上で1か月に亘り動画配信の使用により実施したことと言及した。管理体制の強化についても、環境啓発施設の見学や意見交換、人事採用の迅速対応、会員制度(プラザメイト)の見直し等を行ない、今後は財団事業実施の原資調達のための助成金獲得事業への注力についても触れた。

報告が終わり、議長が他に質問及び意見を求めたところ、質問及び意見はなかったので以上をもって午前11時10分、議長は閉会を宣し、解散した。

この議事録が正確であることを証するため議長、議事録署名人及び理事長が記名押印する。

令和4年5月27日

議 長 三 輪 信 哉

議事録署名人 岡 松 道 哉

議事録署名人 紙 谷 和 典

理 事 長 門 脇 則 子

本議事録の作成にかかわる職務を行った者の氏名

公益財団法人千里リサイクルプラザ

総務担当参事 上 川 善 一 郎

総務担当 田 崎 貴 子

捺印